

いきます。

認知運動療法で改善

TEL ΗP

発行人/株式会社ケアプラス ∕〒105-0014

東京都港区芝3-40-4 三田シティプラザ2階 / (3-2) 0120-8556-39

/http://www.care-plus.co.jp

間

の回

復

する可能

た右手が

텘

ようになるまで

(中期目標)

右肩の痛みの改善

右手の親指、

人指し指、中指の屈

[初期目標]

石手を使えるように。

まれ、その結果、手の指を伸ばす動きが り 作品を残されてきたS・I様は、作品を作 ンを手がけ、 と言われました。陶芸や染色などデザイ と言語障害を患うことになったS・I様。 はつきりと出来るようになりました。 S・I様は、前向きに右手の施術に取り組 おりませんでした。今回、回復の可能性を はあきらめていました。病院でのリハビリに の当たりにし、 他に、認知運動療法も取り入れました。 信じ、訪問マッサージを申し込まれました。 おいても脚中心で、右手のリハビリは行って 訪問マッサージでは、身体的なリハビリの 脳梗塞の後遺症により、右片不全麻痺 、出してきた右手が動かせない現実を目 |師から右手を動かすことはもう難しい 染色作家として素晴らし 右手を動かすことを一時

より引き出し、日常 生活の向上を図って 指の動きを促通法に 今後は、右手の各



千葉営業所 渋澤相談員



認知運動療法



肩関節の施術 め、 (治療内容) を使えるようにする。 【長期目標】 食事、着替え等日常生活で、 右 | 肩周

た。現在は、 施術日以外の日に課題として「ふき 促通法を用いて施術を行いました。 んでテーブル拭き」を行って頂きまし 初期は、右肩の痛みを改善するた 指先の運動を行っています。 認知運動療法を取り入 りのマッサージや



右



曲動作を他の指に力が入らず

10

口

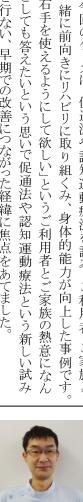
あきらめていた右手の指を動かせるようになった

ご利用者情報

ボールを離す練習

傷病名:脳梗塞後遺障害、右片不全 J利用者 S·Ⅰ様(80歳·男性 麻痺、言語障害(運動性失語)

は、各指バラバラに動かすことができな い痛みが出る為、着替えや洗顔など日 常の生活面で支障がありました。右手 右肩は屈曲や腕を下ろす動作時に強 麻痺と言語障害を患われていました。 、状態でした。認知運動療法の 脳梗塞の後遺障害により、右片不全



を行ない、早期での改善につながった経緯に焦点をあてました。

としても答えたいという思いで促通法や認知運動療法という新しい試み

右手を使えるようにして欲しい」というご利用者とご家族の熱意になん

今回のケースは、促通法や認知運動療法を試み、ご利用者・ご家族と

が改善され 指、の分離運動 人指し指中

導入により、 親

ご家族の声

たので、 果がかなり出てきていると思います。 る上で、精神的にも身体的にも楽に を訴えることがなくなり、介助をす みを訴えていましたが、今は全く痛み 前は、着替えや入浴時に、右肩の痛 も・・・」と病院の医師から言われてい なりました。リハビリやマッサージの効 「右手は動くようにならない 今の状態に驚いています。

ケア・マネジャー様 の声

リハビリにも積極的に参加するよう きました。表情も明るくなり、言語 積極的に作業を行なうようになって なりました。 右肩の痛みも改善もでき、右手で